

匠の逸品の運用状況

JPX日経400プラスにいがた・アクティブ(愛称 匠の逸品)
追加型投信／国内／株式

2016年5月27日

3月期決算企業の2015年度の決算発表が概ね終了しました。当ファンドでは、決算内容の精査などをふまえ、2016年度以降も業績およびROE（自己資本利益率）の改善が続くと見込まれる銘柄などを組み入れることによって、パフォーマンスの向上に努めております。

2016年度業績（会社予想）は2期連続の減益となる見通し

- 3月期決算企業の2015年度（2016年3月期）の決算発表が概ね出揃いました。TOPIX500採用銘柄の2015年度実績は全産業で1.1%の経常減益となりました。2016年度（会社予想）につきましても全産業で0.6%経常減益予想となり、2期連続で減益となる見通しです（図表1）。
- 2016年度（2017年3月期）の業績（会社予想）につきましては、情報・通信業や小売業など主に国内で事業を展開している業種は増益基調を維持する見通しです。一方、円安の恩恵を享受してきたと考えられる輸送用機器などが年明け以降の円高進行の影響などで減益となる見通しです。

リビジョンレシオは足元で改善の動き

- 企業の決算発表が概ね終了し、今後は証券業界の企業アナリストによる業績予想の修正が進む見通しです。企業アナリストによる業績予想の修正動向が反映されたリビジョンレシオと株価の間には、相関関係があると考えられます（図表2）。
- 2016年1月以降、リビジョンレシオのマイナス幅が拡大する中で、国内株式市場も下落しました。しかし、足元でリビジョンレシオは改善の動きが見られます。企業アナリストによる業績予想の下方修正はピークを越え、株式市場は持ち直す展開になると期待されます。

（注）リビジョンレシオとは、（企業アナリストの予想が上方修正された銘柄数－下方修正された銘柄数）/調査対象銘柄数で算出され、直近1か月の数値を毎週更新したものです。

ROEの改善が見込まれる銘柄を選別

- 当ファンドでは、幅広い業種の中から高い競争力などを背景に、独力で業績成長およびROE上昇を達成すると見込まれる銘柄などを選別し、組入れを行っております。
- 5月につきましては、北海道での積極出店方針を発表したコメリや、2016年度も増配の見通しを示した日産自動車の買付などを行う一方、業績改善の遅れが懸念されるミネベアの組入比率引き下げなどを行いました（図表3）。

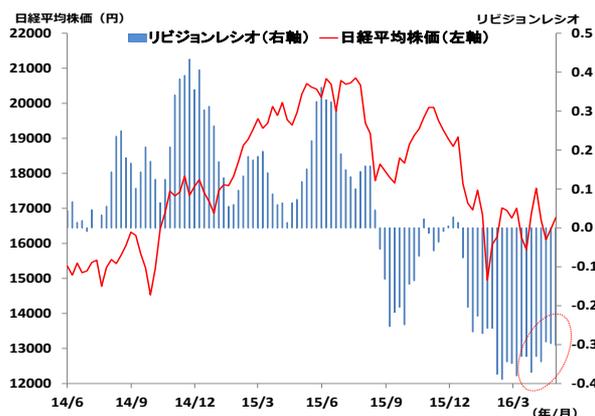
（図表1）3月期決算企業の経常利益増減率

（2016年5月20日時点、前期比（%））

	16/3期 実績	17/3期 会社予想
全産業	-1.1	-0.6
製造業	-2.1	-0.7
非製造業	-0.3	-0.5

（注）TOPIX500採用銘柄のうち、3月期決算の414社の集計値
（注）経常利益に代え、国際会計基準採用企業は税引前利益を、大手総合商社5社は当期純利益をそれぞれ使用
（出所）Bloombergデータより岡三アセットマネジメント作成

（図表2）リビジョンレシオと日経平均株価の推移



（期間）2014年6月20日～2016年5月20日（週次）
（出所）Bloombergのデータより岡三アセットマネジメント作成

（図表3）5月の主な売買銘柄

主な買付銘柄		主な売却銘柄	
銘柄名	業種	銘柄名	業種
カカレーベン	不動産業	ミネベア	電気機器
日産自動車	輸送用機器	オリエンタルランド	サービス業
スタートゥデイ	小売業	総合警備保障	サービス業
あおぞら銀行	銀行業	小野薬品工業	医薬品
コメリ	小売業	トヨタ自動車	輸送用機器

（期間）2016年5月2日～2016年5月24日
※上記は個別銘柄の売却、購入等の行為を推奨するものではありません。

＜本資料に関してご留意いただきたい事項＞

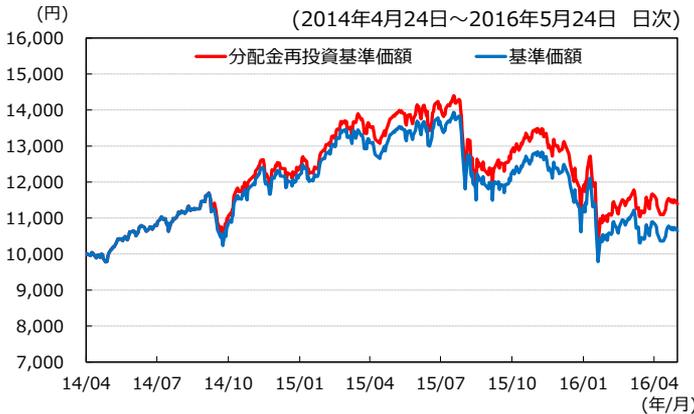
■本資料は、「JPX日経400プラスにいがた・アクティブ(愛称 匠の逸品)」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はおお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

JPX日経400プラスにいがた・アクティブ(愛称 匠の逸品)
追加型投信/国内/株式

運用状況

(作成基準日：2016年5月24日)

■ 設定来の基準価額の推移



- (注) 上記のグラフの基準価額は1万口当たり、信託報酬控除後です。
 (注) 設定日の基準価額は1万口当たりの当初設定元本です。
 (注) 分配金再投資基準価額とは、設定来の分配金(税引前)を当該分配金(税引前)が支払われた決算日の基準価額で再投資したもとして計算した基準価額です。
 (注) グラフは過去の実績であり、将来の成果を示唆または保証するものではありません。

■ ファンドの状況

基準価額	10,638 円
純資産総額	3,314,766,673 円
株式組入比率	94.7 %
組入銘柄数	75 銘柄

※基準価額は、1万口当たりです。

■ 分配金実績

決算期	分配金 (円)
第1期 (2014年10月6日)	200
第2期 (2015年4月6日)	200
第3期 (2015年10月5日)	200
第4期 (2016年4月5日)	200

※分配金は1万口当たり(税引前)です。運用状況等によっては分配金額が変わる場合、或いは分配金が支払われない場合があります。

■ 組入上位10業種

業種名	組入比率
1 小売業	12.2%
2 化学	10.4%
3 機械	9.6%
4 情報・通信業	8.7%
5 サービス業	8.2%
6 医薬品	7.6%
7 不動産業	6.9%
8 建設業	6.7%
9 食料品	4.5%
10 銀行業	4.4%

■ 組入上位10銘柄

JPX日経インデックス400構成銘柄

銘柄名	組入比率
1 塩野義製薬	4.1%
2 リロ・ホールディング	3.6%
3 日産自動車	3.3%
4 大和ハウス工業	3.2%
5 日産化学工業	3.2%
6 タカラレーベン	3.2%
7 ホシザキ電機	3.1%
8 ニトリホールディングス	3.1%
9 ダイキン工業	3.0%
10 花王	3.0%

新潟県関連銘柄 (本社)

銘柄名	組入比率
1 ハードオフコーポレーション	2.8%
2 アクシアル リテイリング	2.5%
3 太陽工業	2.3%
4 スノーピーク	1.5%
5 コメリ	1.5%
6 福田組	1.0%
7 遠藤製作所	1.0%
8 北越工業	0.9%
9 北越紀州製紙	0.7%
10 亀田製菓	0.6%

※組入比率はファンドの純資産総額に対する比率です。

JPX日経400プラスにいがた・アクティブ (愛称 匠の逸品) ファンドの特色

- 主として、わが国の金融商品取引所上場 (上場予定を含みます。) 株式のうち、JPX日経インデックス400 の構成銘柄 (銘柄入替時の予定銘柄を含みます。) および新潟県関連企業の株式に投資を行い、投資信託財産の成長を目指して運用を行います。
 - 投資候補銘柄の選定にあたっては、主に資本の効率的活用を測る指標であるROE (自己資本利益率) の水準、方向性、変化等に着目します。
 - 新潟県関連企業の株式の組入比率は、投資信託財産の純資産総額に対して概ね30%程度とします。ただし、流動性や市場情勢の変化等によっては、新潟県関連企業の株式の組入比率は30%から大幅にカイ離する場合があります。
 - 新潟県関連企業とは、新潟県に本社 (本店) を置く企業、および新潟県に主要な工場、店舗、施設等がある企業とします。
 - 株式の組入比率は、原則として高位とすることを基本とします。ただし、市況動向を勘案の上、委託会社が適切と判断した場合、株価指数先物取引等を活用して株式の実質組入比率を大幅に引き下げる場合があります。
 - 株式以外の資産の投資割合は、原則として投資信託財産総額の50%以下とします。
- ※資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

(作成：エクイティ運用部)

＜本資料に関してご留意いただきたい事項＞

■ 本資料は、「JPX日経400プラスにいがた・アクティブ (愛称 匠の逸品)」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■ 本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■ 本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■ 投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書 (交付目論見書) をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はおお客様自身で行っていただきますようお願いいたします。

JPX日経400プラスにいがた・アクティブ(愛称 匠の逸品)に関する留意事項
【岡三アセットマネジメントについて】

商号：岡三アセットマネジメント株式会社

岡三アセットマネジメント株式会社は、金融商品取引業者として投資運用業、投資助言・代理業および第二種金融商品取引業を営んでいます。登録番号は、関東財務局長（金商）第370号で、一般社団法人投資信託協会および一般社団法人日本投資顧問業協会に加入しています。

【投資リスク】

■ 投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様へ帰属します。ファンドは、国内の株式等値動きのある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。

■ ファンドの主な基準価額の変動要因としては、「株価変動リスク」、「信用リスク」があります。

※基準価額の変動要因は上記のリスクに限定されるものではありません。

【その他の留意点】

■ ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。

■ 投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。

■ 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

■ 取引所における取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金申込みの受付を中止することや、すでに受付けた購入・換金申込みの受付を取消すことがあります。

【お客様にご負担いただく費用】

<お客様が直接的に負担する費用>

■ 購入時

購入時手数料：購入価額×購入口数×上限3.24%(税抜3.0%)
詳しくは販売会社にご確認ください。

■ 換金時

換金手数料：ありません。
信託財産留保額：ありません。

<お客様が信託財産で間接的に負担する費用>

■ 保有期間中

運用管理費用（信託報酬）
：純資産総額×年率1.6632%（税抜1.54%）

■ その他費用・手数料

監査費用：純資産総額×年率0.0108%(税抜0.01%)

■ 有価証券等の売買に係る売買委託手数料、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等を信託財産でご負担いただきます。（監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。）

●お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。

●詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご参照ください。

販売会社

（受益権の募集の取扱い、投資信託説明書（交付目論見書）、投資信託説明書（請求目論見書）及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。）

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
(金融商品取引業者)					
岡三にいがた証券株式会社	関東財務局長(金商)第169号	○			

<本資料に関するお問い合わせ先>

岡三アセットマネジメント株式会社
カスタマーサービス部 フリーダイヤル **0120-048-214** (9:00~17:00 土・日・祝祭日・当社休業日を除く)